

B-65 衣服圧と循環血液量の関係 (オ) 報)

和洋女大文政政 ○ 田口秀子 宮川豊美 川村一男

衣服圧によって、血液循環系、特に循環血液量にも影響の及ぶことが推定されるが、このことについての追究はほとんどされていない。

演者らは、心臓拍出血液量と密接な関係のある指(趾)尖脈波に注目し、衣服圧と循環血液量との関係を明らかにしようと本研究を試みた。

指(趾)尖脈波の観察は、透過型差動脈波計(手製)を用い、手及び趾のオ)指腹面から誘導記録を行い、衣服圧は、実験的に胸腹部をゴム袋で加圧することによって行った。

胸腹部圧20mmHgで得られた指(趾)尖脈波から、フラメーターによって求めた循環血液量の比は、対照を1とした場合、指尖では0.76~0.81、趾尖では0.66~0.69であった。

これらの結果から、胸腹部加圧による循環血液の変化は、手指尖よりも、趾指尖において流血量の少くなる傾向がみられた。また、手指尖部においても流血量の少くなることを認めたが、その差は、趾指尖より少ない。

したがって、胸腹部圧迫の影響は、全身的に流血量の変化をもたらすことを認めた。

なお、現在、装置及び誘導方法等の検討を行っている。